

エクアドル短信-10

(2007.8.3)

日本は暑さ真っ盛りの候と思います。こちらはもっとも涼しい？季節で夜はタオルケットが必要です。昼間は曇っていれば快適、日差しがあれば暑い。通常、午前中は曇っています。また雨は夜間にときどき少しばかり降る程度ですので、道路は大型車が走れば砂ぼこりがいつももうもうと舞い上がっています。

熱帯地方といえば、すぐにジャングル、毒蛇、野生動物の宝庫を想像されることでしょうか。ところが私の住んでいる地方は低地の平坦地で、人の手が入っていない原始林はありません。市街地を離れると周りは緑一色ですが、林の構成植物はカカオ、加工用バナナ、パパイヤ、アボガド、マンゴー、チリモヤ、テカ（木材用）など栽培樹木で、樹木のないところではトウモロコシ、パッションフルーツ、牧草地（イネ科の雑草が茂っている）で、珍しい動植物の住める環境ではありません。でもアルマジロ、ナマケモノ？（1回こっきり）はときどき見られます。その他緑色のイグアナ（トカゲを大きくしたもの）も見られます。鳥類はかなりいますが、鳥音痴のため珍しいかどうかは知りません。毒蛇は2回、道端と林の中で見つけましたが少ないようです。

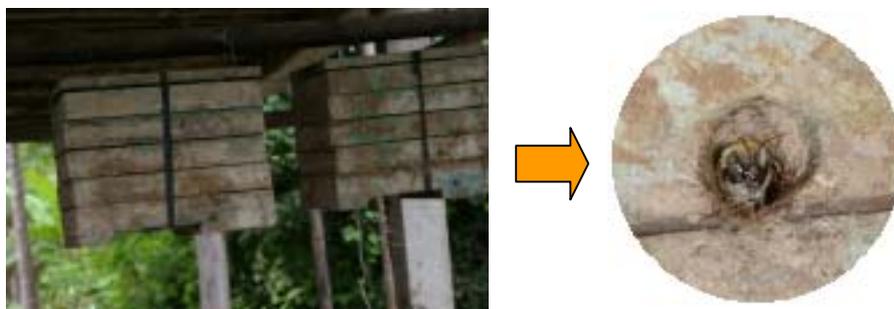


昆虫類では蚊が王様で、どこにでもいっぱいいます。とくに雨季になると水たまりが増えるせいか蚊も増えます。そのため、蚊が媒介するデング熱は頻繁に発生します。感染すると高熱が1週間ほど続き、関節が非常に痛いそうです。効果的な治療法がなく、私の友達（エクアドル人）もこれに罹って1週間寝込み、点滴を受けたとのこと。マラリアの発生もあるようで、そのため市役所は蚊対策に煙霧機を使って人家の周りに薬剤を散布しています。田舎では住居内にも散布します。黄熱病に対しては、街路で無料で予防接種を実施しており、日本の事例と同じように接種を受けると10年間有効の証明書がもらえます。カウンターパートから私もと勧められましたが、すでに日本で接種しているので丁重にお断わりしました。田舎では蚊はいつも豊作で、農家の窓は開けっぱなしになっているので立ち入りは自由です。訪問者の私のみがよい鴨とばかりに狙われて甚大な被害を受けます。こちらの人は免疫があるのか、蚊が避けて通るのかよく分かりませんが、ほとんど被害がありません。もちろん寝る時には蚊帳を吊ります。とくに蚊が多いのは人工湖の近くで、昼間でも待っていましたとばかりに無数の蚊が手、顔、首筋を狙ってきます。虫除けスプレーなどものの役に立たず、あっと言う間にぼこぼこにされます。我が家は市内の中心部にあるのでそれほど多くはありませんが、雨季になると毎日数匹の蚊が忍び込んで来ますので、香取線香は必須です。

我が家は3階にも関わらず、つねに2種類のアリが出没しています。2種類のアリ、大きい種は黒色で、日本のごく普通にいるアリと大きめのアリの中間くらいの大きさ、小さい種はあめ色で、非常に小さくて足が速く何か黒い物が動いている感じにしか見えません。大きいアリは、肉類が大好きで、ハエや蚊の死骸を見つけると喜んで持ってかえる程度です。大目にみていたのですが、採集して乾燥中の大型のカミキリムシの体内の内臓や筋肉を切り取って盗み出したアリには慈悲はなく制裁を加えました。しかし完全に乾燥してしまうと餌にはならないようで見向きもしません。ある朝起きてみると調理台の上に大きいアリが黒山のようになって右往左往しており、いったい何事が起こったのか？ たべ物もないのに？ とりあえず殺虫剤を吹き付けて絶滅させたものの、まだ水切りかごの下から這い出して様子をうかがうアリがいるのでそのかごを除けてみると、無数の黒いアリの中に白い幼虫や繭が混ざっているのが見られました。何処からか一族郎党が引越してきたようです。ミツバチの分封は知っていましたが、アリの分封??は初めてでした。それらをすべて取り除くのに一働きさせられました。とんでもないアリ達です。彼らも今回の処置で懲りたのか、その後は様子をうかがいがてら顔をたまに出す程度で目立った動きはみられていません。

小さいアリは床を這っているかぎりほとんど目につきませんが、甘い物に目がなく、ケーキが大好きですぐにやってきます。また砂糖も好物の一つです。置き場所を変えてもすぐに見つめますので、あきらめて砂糖は冷蔵庫の中に避難しました。室内への出入り口を見つけてエアゾール剤（瞬間的に死亡します）を吹きかけているものの、すぐに別の個所から現れていたちごっこです。ときどき土足でベッドの上に這い上がってうろろし、その道筋に私が寝ころんでいると邪魔だとばかり噛み付きます。かまれるとその部分が火傷のようにぶくりと水膨れになり、治癒するのに半月～1ヶ月かかります。嫌なやつです。

田舎にゆくと蜜蜂を飼っている農家があります。四角い箱を吊り下げ、出入り口にはミツバチが通りぬけられる程度の小さな穴があり、番兵のハチがその穴を体でふさぐようにしていつも通せんぼうをしています。



畑の中で1回、町の中で1回刺されました。クマバチのようなハチもいますが、スズメバチの類はいません。アシナガバチはいっぱいいて、軒先に巣がぶら下がっています。これには刺されたことはありません。

ゴキブリはエクアドルでも普通にいます。大きさは日本のものと同じくらいで、背中に円形の白っぽい模様があり、我が家でもときどき現れます。ある日、市役所が庁舎内全体に薬剤を噴霧したところ、出るわ出るわ気持ちが悪くなるほど無数のゴキブリがとびだし、廊下上でひっくり返って足をもがもがさせていました。



ヤモリはうすい灰色の体色で、日本の種よりも色白美人です。いつも天井や壁をうろうろしています。蚊をとってくればよいのですが、明かりにひかれてやってきた蛾を主食にしているようであまり役くには立ちません。

壁の隅、棚の下、蛍光灯の横などにあるかなしかの巣を張るクモが沢山います。大きさは最大でも5mm程度で、しけた網を張っています。掃除のたびに取り除くのですが、しばらくするとまた巣を張っています。

米や小麦粉の袋には貯穀害虫が2種類侵入し、廃棄させられました。油断も隙もありません。

以上、今月は小さな生き物特集としました。